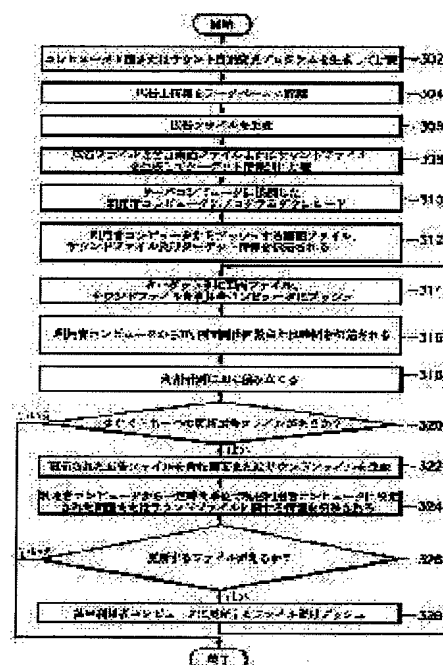


(11)Publication number : 2000-353147
(43)Date of publication of application : 19.12.2000



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-353147
(P2000-353147A)

(43) 公開日 平成12年12月19日 (2000. 12. 19)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 15/00	3 1 0	G 0 6 F 15/00	3 1 0 A
13/00	3 5 4	13/00	3 5 4 D
17/30		G 0 9 G 5/00	5 1 0 B
G 0 9 G 5/00	5 1 0		5 5 0 B
	5 5 0	G 0 6 F 15/40	3 1 0 F

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 8 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-57276(P2000-57276)

(22) 出願日 平成12年3月2日 (2000. 3. 2)

(31) 優先権主張番号 99-19451

(32) 優先日 平成11年5月28日 (1999. 5. 28)

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(71) 出願人 500099777

アドゲイター・コム株式会社

大韓民国 ソウル特別市 瑞草区 瑞草3
洞 1594-4番地 大聖 ベンチャ ビル
2層

(72) 発明者 ▲裴▼ 乙 燮

大韓民国 京畿道 安養市 東安区 虎溪
2洞 931-2番地 大賢 ビラー 102号

(74) 代理人 100098095

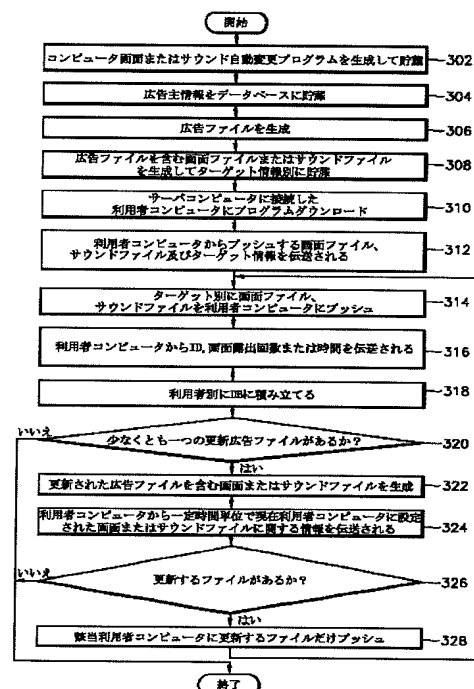
弁理士 高田 武志

(54) 【発明の名称】 ネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法及びその方法を記録したコンピュータで読出しうる記録媒体

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 ネットワーク上でコンピュータ画面又はサウンドを通じて広告する。

【解決手段】 利用者コンピュータの開始、背景、終了及びスクリーンセーブ画面ファイル、開始又は終了時のサウンドファイルをサーバコンピュータから伝送されたファイルに自動変更させるプログラムを生成してサーバコンピュータのメモリに貯蔵し、利用者コンピュータにプログラムをダウンロードし、広告映像又はサウンドを含む広告ファイルを生成し、広告ファイルを含む開始、背景、終了又はスクリーンセーブ画面ファイル、又は利用者コンピュータの開始又は終了時のサウンドファイルを生成し、利用者がプッシュされることを希望する画面又はサウンドファイル情報に基づいて生成した画面又はサウンドファイルを利用者コンピュータにプッシュする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サーバコンピュータ及び複数の利用者コンピュータがネットワークを通じて連結されたシステムを用いて利用者コンピュータの画面またはサウンドを通じて広告をするための方法において、

(a) 利用者コンピュータの開始画面、背景画面、終了画面及びスクリーンセーブ画面ファイルのうちの何れか一つ以上のファイル、開始または終了時のサウンドファイルをサーバコンピュータから伝送された少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルに自動変更させるプログラムを生成してサーバコンピュータのメモリに貯蔵する段階と、

(b) 通信網を通じて接続した利用者コンピュータに前記プログラムをダウンロードする段階と、

(c) 広告主を広告するための広告映像またはサウンドを含む少なくとも一つの広告ファイルを生成する段階と、

(d) 前記広告ファイルが含まれた開始画面、背景画面、終了画面またはスクリーンセーブ画面ファイル、または利用者コンピュータの開始または終了時のサウンドファイルを生成する段階と、

(e) 利用者コンピュータから利用者がプッシュされることを希望する画面ファイルまたはサウンドファイル情報を提供され、そのファイル情報に基づいて (d) 段階で生成した少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルを利用者コンピュータにプッシュする段階とを含むことを特徴とするネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法。

【請求項 2】 前記画面ファイルまたはサウンドファイルを広告主が広告することを希望するターゲット別に分類してサーバコンピュータのデータベースに貯蔵する段階と、

利用者コンピュータから利用者が選択したターゲット情報を提供される段階と、

ターゲット情報に基づいて前記ターゲット別に分類して貯蔵された画面ファイルまたはサウンドファイルを利用者コンピュータにプッシュする段階とをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法。

【請求項 3】 利用者コンピュータから開始、終了、背景画面ファイルまたはサウンドファイルの露出回数またはスクリーンセーブ画面ファイルの活性化時間を提供される段階と、

利用者別に前記露出回数及び時間をデータベースに積み立てる段階とをさらに含んで、

一定期間単位で精算して利用者別に広告受信代を提供することを特徴とする請求項 1 に記載のネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法。

【請求項 4】 前記 (c) 段階の広告ファイルを更新する段階と、

前記更新された広告ファイルが含まれた画面ファイルまたはサウンドファイルを生成する段階とをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法。

【請求項 5】 一定時間単位で利用者コンピュータから画面ファイルまたはサウンドファイル情報を伝送される段階と、

更新された広告ファイルが含まれた画面ファイルまたはサウンドファイルと前記伝送されたファイル情報を比較して更新するファイルがあるかどうかを判断する段階と、

更新するファイルがあれば、利用者コンピュータに前記更新するファイルをプッシュする段階とをさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載のネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法。

【請求項 6】 サーバコンピュータ及び複数の利用者コンピュータがネットワークを通じて連結されたシステムを用いて利用者コンピュータの画面またはサウンドを通じて広告をするための方法を記録したコンピュータで読出しうる記録媒体において、

(a) 利用者コンピュータの開始画面、背景画面、終了画面及びスクリーンセーブ画面ファイルのうちの何れか一つ以上のファイル、開始または終了時のサウンドファイルをサーバコンピュータから伝送された少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルに自動変更させるプログラムを生成してサーバコンピュータのメモリに貯蔵する段階と、

(b) 通信網を通じて接続した利用者コンピュータに前記プログラムをダウンロードする段階と、

(c) 広告主を広告するための広告映像またはサウンドを含む少なくとも一つの広告ファイルを生成する段階と、

(d) 前記広告ファイルが含まれた開始画面、背景画面、終了画面またはスクリーンセーブ画面ファイル、または利用者コンピュータの開始または終了時のサウンドファイルを生成する段階と、

(e) 利用者コンピュータから利用者がプッシュされることを希望する画面ファイルまたはサウンドファイル情報を提供され、そのファイル情報に基づいて (d) 段階で生成した少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルを利用者コンピュータにプッシュする段階をコンピュータで実行させるためのプログラムを記録したコンピュータで読出しうる記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はネットワーク上での広告に係り、より詳細にはネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法及びその方法を記録したコンピュータで読出しうる記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】一般的に、コンピュータ利用者はコンピュータをオンしたりオフしたりする時現れる開始及び終了画面、コンピュータ使用をしばらく中止する時現れるスクリーンセーブ画面、または背景画面にモニターを通じて常に接している。

【0003】ここで、開始画面や終了画面、特に図1及び図2のようなウィンドウ運営体制(ウィンドウ95/98)下の開始及び終了画面の場合、使用者の意志とは関係なくマイクロソフト社のロゴをコンピュータのオン/オフ時点で見ることになり、使用者はこれを任意に変更することができない。

【0004】もちろん、背景画面や図3のようなスクリーンセーブ画面の場合は使用者が他の画面に変更できるが、限られたいくつかの画面から選択したりスキニングで入力することが必要なので不便なところがある。

【0005】現在のコンピュータ普及率を考慮する時、コンピュータモニターの画面やサウンドは優れた広告媒体になりうるにもかかわらず、利用者には無味乾燥な特定業体のロゴだけを示すようになっているため広告媒体として活用できない実情である。

【0006】一方、最近バナー(Banner)広告やアドコン(adcon)のようにインターネットを用いた広告が注目されているが、これは常にインターネットに接続して特定サイトに入ってこそ見ることができるので広告効果が非常に低い問題がある。

【0007】従って、広告が含まれた画面ファイルまたはサウンドファイルをネットワークを通じて利用者コンピュータに持続的に伝送(プッシュ)することによって利用者コンピュータのモニター画面またはサウンドを広告に活用できる方法が要望されてきた。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は上記の要求に応じるために、広告が含まれた画面ファイルまたはサウンドファイルをネットワークを通じて利用者コンピュータに持続的にプッシュし、利用者コンピュータで既に設定されている画面ファイルまたはサウンドファイルを前記プッシュされたファイルに変更させることによって利用者コンピュータの画面またはサウンドを通じて広告する方法を提供することである。

【0009】本発明の他の目的は、前記方法を記録したコンピュータで読出しうる記録媒体を提供することである。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明によれば上記の目的を達成するために、サーバコンピュータ及び複数の利用者コンピュータがネットワークを通じて連結されたシステムを用いて利用者コンピュータの画面またはサウンドを通じて広告をするための方法において、(a) 利用者コンピュータの開始画面、背景画面、終了画面及びスクリーンセーブ画面ファイルのうちの何れか一つ以上のフ

ァイル、開始または終了時のサウンドファイルをサーバコンピュータから伝送された少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルに自動変更させるプログラムを生成してサーバコンピュータのメモリに貯蔵する段階と、(b) 通信網を通じて接続した利用者コンピュータに前記プログラムをダウンロードする段階と、(c) 広告主を広告するための広告映像またはサウンドを含む少なくとも一つの広告ファイルを生成する段階と、(d) 前記広告ファイルが含まれた開始画面、背景画面、終了画面またはスクリーンセーブ画面ファイル、または利用者コンピュータの開始または終了時のサウンドファイルを生成する段階と、(e) 利用者コンピュータから利用者がプッシュされることを希望する画面ファイルまたはサウンドファイル情報を提供され、そのファイル情報に基づいて(d)段階で生成した少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルを利用者コンピュータにプッシュする段階とを含むことを特徴とするネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法が提供される。

20 【0011】本発明によれば上記の他の目的を達成するために、サーバコンピュータ及び複数の利用者コンピュータがネットワークを通じて連結されたシステムを用いて利用者コンピュータの画面またはサウンドを通じて広告をするための方法を記録したコンピュータで読出しうる記録媒体において、(a) 利用者コンピュータの開始画面、背景画面、終了画面及びスクリーンセーブ画面ファイルのうちの何れか一つ以上のファイル、開始または終了時のサウンドファイルをサーバコンピュータから伝送された少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルに自動変更させるプログラムを生成してサーバコンピュータのメモリに貯蔵する段階と、(b) 通信網を通じて接続した利用者コンピュータに前記プログラムをダウンロードする段階と、(c) 広告主を広告するための広告映像またはサウンドを含む少なくとも一つの広告ファイルを生成する段階と、(d) 前記広告ファイルが含まれた開始画面、背景画面、終了画面またはスクリーンセーブ画面ファイル、または利用者コンピュータの開始または終了時のサウンドファイルを生成する段階と、(e) 利用者コンピュータから利用者がプッシュされることを希望する画面ファイルまたはサウンドファイル情報を提供され、そのファイル情報に基づいて(d)段階で生成した少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルを利用者コンピュータにプッシュする段階をコンピュータで実行させるためのプログラムを記録したコンピュータで読出しうる記録媒体が提供される。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、添付した図面を参照して本発明の実施例を詳細に説明する。

【0013】図4は本発明を遂行するのに適用されるネットワークシステムの構成を示す図面である。

【0014】サーバコンピュータ14は本発明に係るコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法を提供する会社に備わったコンピュータであり、利用者コンピュータ10はサーバコンピュータ14に接続して一定プログラムをダウンロードした後広告が含まれた画面ファイルまたはサウンドファイルを持続的に提供される人のコンピュータである。サーバコンピュータ14及び利用者コンピュータ10はネットワーク12を通じて相互連結されている。

【0015】一方、サーバコンピュータ14は、利用者コンピュータの開始画面、背景画面、終了画面及びスクリーンセーブ画面ファイルのうちの何れか一つ以上のファイル、開始または終了時のサウンドファイルを、サーバコンピュータ14から伝送された少なくとも一つの画面ファイルまたはサウンドファイルに自動変更させるプログラム(以下、アドコム(adcom)プログラムという)を生成して自体内のメモリに貯蔵する。サーバコンピュータ14はネットワーク12を通じて接続した利用者コンピュータ10にアドコムプログラムをダウンロードする。アドコムプログラムは利用者コンピュータ10で実行されて利用者コンピュータ10に設定された画面ファイルをサーバコンピュータ14からプッシュされる画面ファイルに自動変更する。

【0016】サーバコンピュータ14は利用者にインターネットのようなネットワーク上でウェブサイト状に具現される。

【0017】図5は本発明に係るネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法のフローチャートである。

【0018】便宜上、利用者コンピュータ10はサーバコンピュータ14と専用線で連結されていると仮定する。

【0019】サーバコンピュータ14はコンピュータ画面またはサウンド自動変更プログラム(アドコムプログラム)を生成してメモリ(図示せず)に貯蔵する(302段階)。

【0020】広告主情報をサーバコンピュータ14のデータベースに貯蔵する(304段階)。広告主情報とは、広告主の名前(または商号)及び広告主の広告を見ることを希望するターゲット情報を意味する。ここで、ターゲット情報とは、例えば“男子中高校生”、“女子中高校生”、“一般男性”、“一般女性”などがありえる。このようなターゲット情報は、例えば30代の会社員、40代の主婦のようにより具体的に指定する場合もある。

【0021】広告主を広告する広告ファイルを作成する(306)。広告ファイルとは、画面ファイルまたはサウンドファイルに含まれる広告映像またはサウンドを意味する。広告映像は通常広告主商標やロゴまたは広告主イメージになるはずである。広告映像の大きさは広告主が支払った広告代に従ってモニターの画面全体に一つの広

告だけ入るように作る場合もあり、いくつかの広告を組合わせて作る場合もある。

【0022】広告ファイルを含む画面ファイルまたはサウンドファイルを作成してターゲット情報別に貯蔵する(308段階)。これはサーバコンピュータ14が各利用者コンピュータ10に利用者が選択したターゲット情報に関する画面ファイルまたはサウンドファイルのみ送るためである。

【0023】サーバコンピュータ14に接続した利用者コンピュータ10に302段階で生成したアドコムプログラムをダウンロードする(310段階)。ここで、アドコムプログラムは会員加入可否とは関係なく利用者でさえあれば全てダウンロードできる。ただ、会員加入した利用者には利用者コンピュータでの画面露出回数または時間に比例して一定の広告受信代支給などのサービスを行うことが望ましい。会員加入時には利用者の名前、年齢、職業、関心分野を含む身上情報を入力されて今後広告主のターゲット情報として利用できるようにする。

【0024】サーバコンピュータ14は利用者コンピュータ10から、プッシュする画面ファイルまたはサウンドファイル及びターゲット情報をネットワーク12を通じて伝送される(312段階)。利用者はサーバコンピュータ14からダウンロードしたアドコムプログラムを実行して、自分が今後サーバコンピュータ14からプッシュされる画面ファイルまたはサウンドファイルの種類、ターゲット情報を選択する。利用者が前記画面ファイルまたはサウンドファイル、またはターゲット情報を選択すれば、アドコムプログラムは利用者が選択した内容をサーバコンピュータ14に伝送し、これを312段階で受けることになる。もちろん、ここでターゲット情報は複数個選択でき、この場合サーバコンピュータ14は選択された全てのターゲット情報に関する広告を含む画面ファイルまたはサウンドファイルを送る。ここでは、利用者がターゲット情報を選択するが、サーバコンピュータ14が利用者の会員情報に基づいてターゲットに該当する利用者のコンピュータに広告を含む画面ファイルまたはサウンドファイルを送る方式を選ぶ場合もある。

【0025】サーバコンピュータ14は308段階でターゲット別に貯蔵した広告ファイルを含む画面ファイルまたはサウンドファイルを利用者コンピュータ10にプッシュする(314段階)。

【0026】利用者コンピュータ10からID(利用者が会員の場合)、画面露出回数または時間を伝送される(316段階)。アドコムプログラムは利用者コンピュータ10で実行時ごとにID、開始、終了、背景画面ファイルの露出回数、スクリーンセーブ画面ファイルの活性化時間をチェックしてサーバコンピュータ14に伝送する。ここで、露出回数は利用者コンピュータが一回オン/オフする時ごとに1回ずつカウントされる。

【0027】利用者別にDBに露出回数または時間を積み

立てる(318段階)。これは、露出回数または時間に比例して精算日(例えば、2週、一ヶ月単位)に広告を見た代価を利用者に支払うためである。

【0028】少なくとも一つの更新広告ファイルがあるかどうかを判断する(320段階)。更新広告ファイルとは、広告主が前に依頼した自分の広告を変更するように依頼し、それに基づいて生成された広告ファイルを意味する。更新広告ファイルが一つもなければ終了する。

【0029】更新広告ファイルが少なくとも一つあれば、更新された広告ファイルを含む画面ファイルまたはサウンドファイルを生成する(322段階)。

【0030】利用者コンピュータ10から一定時間単位で現在利用者コンピュータ10に設定された画面ファイルまたはサウンドファイルに関する情報を伝送される(324段階)。アドコムプログラムは実行時に利用者コンピュータに設定された画面ファイルまたはサウンドファイルに関する情報をサーバコンピュータ14に伝送するが、サーバコンピュータ14はこれを伝送されることになる。

【0031】サーバコンピュータ14が保有する画面ファイルまたはサウンドファイルと利用者コンピュータ10の画面ファイルまたはサウンドファイルを比較して更新するファイルがあるかどうかを判断する(326段階)。

【0032】更新するファイルがあれば該当利用者コンピュータ10に更新するファイルだけプッシュする(328段階)。例えば開始、終了、背景画面に対しては更新する新たなファイルがなく、スクリーンセーブ画面のみ更新された場合スクリーンセーブ画面のみプッシュする。これは、ファイルごとに更新される時点が違う場合があるからである。

【0033】図6乃至図9は、本発明の方法により変更または更新された画面を示す図面である。

【0034】図6は、図1のような開始画面をサーバコンピュータ14からプッシュされた開始画面に変更した例を示す。即ち、広告主(HYUNDAI ELECTRONICS)が希望する会員のモニター開始画面を図6のように変更したことであって、コンピュータをオンする時ごとに図6のような開始画面が現れる。もちろん、サーバコンピュータ14から更新された広告が含まれた開始画面ファイルをプッシュされれば、その更新された広告が含まれた開始画面が現れる。

【0035】図7は、図2のような終了画面をサーバコンピュータ14からプッシュされた終了画面に変更した例を示す。この場合はコンピュータをオフする時ごとに図7のような画面が現れることになる。

【0036】同様に、図8及び図9は各々利用者コンピュータに現在設定されたスクリーンセーブ画面及び背景画面をサーバコンピュータ14からプッシュされた画面に変更した例を示す。

【0037】前述したアドコムプログラムは、利用者コンピュータ10に既に設定されている画面ファイルまたはサウンドファイルをサーバコンピュータ14からプッシュされた画面ファイルまたはサウンドファイルに自動変更するが、その詳細な動作を図10に基づいて説明すれば次の通りである。

【0038】プッシュされたファイルが開始/終了画面を変更するためのファイルの場合、デフォルトモード(ロゴ画面を示す場合; MSDOS.SYSファイルのLogo=1の場合)かどうかを判断して(504段階)、もしデフォルトモードではない場合(ロゴ画面を示さない場合; MSDOS.SYSファイルのLogo=0の場合)にはデフォルトモードに転換する(506段階)。それから、現在の開始/終了画面ファイルをプッシュされた開始画面ファイル(ウィンドウ95の場合はlogo.sys、ウィンドウ98の場合はlogos.sys)/終了画面ファイル(logow.sys)に変更する(508段階)。すると、以後コンピュータをオンしたりオフしたりする時から変更された画面が、更新画面をダウンロードする時まで現われ続ける。504段階でデフォルトモードであれば直ぐ508段階を遂行すればよい。

【0039】プッシュされたファイルが背景画面を変更するためのファイルの場合、一定関数を用いたりウィンドウレジストリの該当項目を修正して現在の背景画面イメージファイルをプッシュされた背景画面ファイルに変更する(510段階)。例えば、ウィンドウ95/98の場合、WINDOWS APIの中でシステムパラメータ情報(SystemParameterInfo)関数を用いて現在の背景画面イメージを前記プッシュされた背景画面に変更したり、ウィンドウレジストリの該当項目(HKEY_CURRENT_USER\control panel\desktop項目)を修正することによって現在の背景画面ファイルを前記プッシュされた背景画面ファイルに変更する。

【0040】プッシュされたファイルがスクリーンセーブ画面を変更するためのファイルの場合、ウィンドウディレクトリのSYSTEM.INIファイルのブート領域にSCRNSAVE.EXEの指定されたファイル(.scr)をプッシュされたスクリーンセーブファイル(.scr)に変更する(512段階)。この時、スクリーンセーブファイルが活性化されていない状態であれば、ウィンドウレジストリのスクリーンセーブ活性化項目(HKEY_CURRENT_USERで、"control Panel\desktop"、ScreenSaveActive)を"1"に変更する。そしてスクリーンセーブ活性化時間、即ち、待機時間(使用者が一定時間コンピュータを使用しない時、スクリーンセーブ画面をディスプレイするまでかかる時間)が設定されていないければ、"control Panel\desktop"、ScreenSaveTimeout、"時間"をデフォルトに設定する。

【0041】サウンド変更ファイルの場合、現在のサウンドファイルをプッシュされたサウンドファイルに変更

する(514段階)。

【0042】具体的には、HKEY_CURRENT_USER\AppEvents\Schemes\Apps\.Default\SystemStart項目の.current値を変更して現在のサウンドファイルをプッシュされたサウンドファイルに変更する。

【0043】こうすることによってサーバコンピュータからプッシュされた画面ファイル及びサウンドファイルを自動変更または更新できる。

【0044】本発明はまたコンピュータで読出しうる記録媒体にコンピュータが読出しうるコードとして具現することができる。コンピュータが読出しうる記録媒体は、コンピュータシステムによって読出されうるデータが貯蔵される全種の記録装置を含む。コンピュータが読出しうる記録媒体にはROM、RAM、CD-ROM、磁気テープ、フロッピーディスク、光データ貯蔵装置があり、また搬送波(例えばインターネットを通した伝送)状に具現されることも含む。またコンピュータが読出しうる記録媒体はネットワークで連結されたコンピュータシステムに分散されて、分散方式でコンピュータが読出しうるコードが貯蔵され実行できる。

【0045】本発明は前述した実施例に限られず、本発明の思想を損なわない範囲内で当業者による変形ができる。本実施例では利用者コンピュータがサーバコンピュータと専用線で連結されたことに対して説明したが、利用者コンピュータがモデムを用いてサーバコンピュータと接続する場合に対しても適用できることはもちろんである。また、本実施例では運営体制をウィンドウ95または98を挙げて説明したが、その以上のバージョンに対しても同一に適用できる。そして、GUI(Graphic User Interface)環境の他の運営体制でも適用できる。

【0046】従って、本発明で権利を請求する範囲は詳細な説明の範囲内に決まることではなく請求の範囲に限られる。

【0047】

【発明の効果】本発明によれば、広告が含まれた画面ファイルまたはサウンドファイルをネットワークを通じて利用者コンピュータに持続的にプッシュし、利用者コンピュータで既に設定されている画面ファイルまたはサウ*

*ンドファイルを前記プッシュされたファイルに変更させることによって次のような効果を有する。

【0048】先ず、広告主には利用者コンピュータを通じて自身の広告を効率的にできる利点がある。特に、一度プッシュされておけばネットワーク上に連結されていなくてもコンピュータ画面またはスピーカを通じて広告を利用者に露出し続けられる利点がある。これは現在のコンピュータ普及率を考慮する時相당한広告効果を提供できる。

【0049】次に、利用者には広告主の広告を見たことに対する一定代価を支給されるという利点がある。

【0050】サーバコンピュータでプッシュ技術で画面ファイルを送るので利用者がコンピュータを使用するには全く影響を受けない。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来のコンピュータ画面を示す図である。

【図2】従来のコンピュータ画面を示す図である。

【図3】従来のコンピュータ画面を示す図である。

【図4】本発明を遂行するのに適用されるネットワークシステムの構成を示す図である。

【図5】本発明に係るネットワーク上でコンピュータ画面またはサウンドを通じて広告する方法のフローチャートである。

【図6】本発明の方法により変更または更新された画面を示す図である。

【図7】本発明の方法により変更または更新された画面を示す図である。

【図8】本発明の方法により変更または更新された画面を示す図である。

【図9】本発明の方法により変更または更新された画面を示す図である。

【図10】利用者コンピュータの画面ファイルまたはサウンドファイルの自動更新動作を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

10 利用者コンピュータ

12 ネットワーク

14 サーバコンピュータ

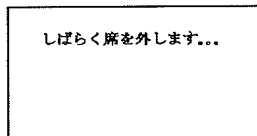
【図1】



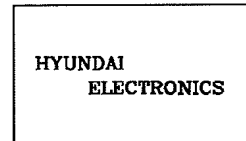
【図2】



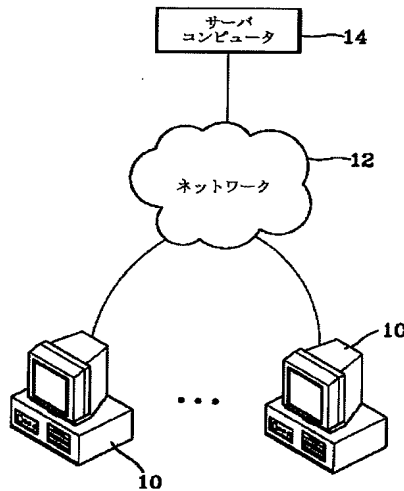
【図3】



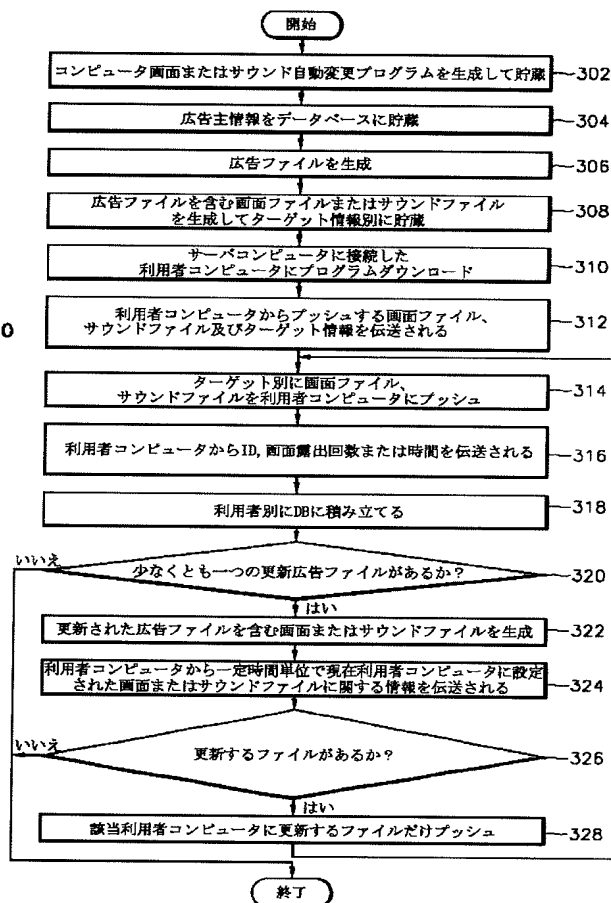
【図6】



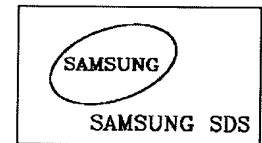
【図4】



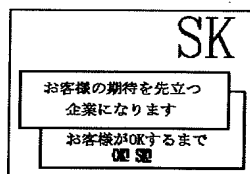
【図5】



【図7】



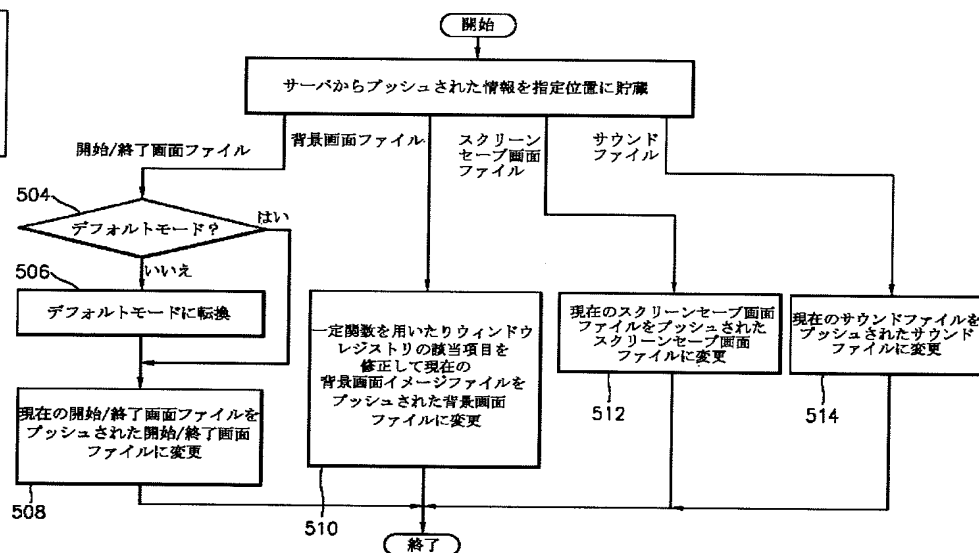
【図8】



【図9】



【図10】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

識別記号

F I
G 0 6 F 15/40

テーマコード (参考)

3 7 0 Z